



本は君が好き

BOOK IS POWER! IF YOU READ IT. vol.10

令和 7 年 2 月 12 日
荒川区立第九中学校
校長 奥秋 直人
学校司書 本間 純子

暖かい冬が一転、2月に入ってからというものの厳しい寒さが続きます。3年生は受験シーズン真っただ中ですね。体調を整えて、全力を出し切れますように心から応援しています！

さて、立春が過ぎて新しい季節が始まりました。この季節になると思い出す一編の詩があります。二月のある朝、たったひとりで、白く息を吐きながら新雪を踏みしめていく…そんなイメージが広がる作品です。彫刻家であり詩人の、高村光太郎の「道程」です。「道程」とは、道のりのことです。それは、光太郎が今まで歩いてきた道のりであり、これから先、歩いていこうとする道のりです。光太郎はそれまで、自分なりの芸術の完成をめざして、一人突き進んできました。伝統的な彫刻界から見放され、また、父親の反対にあっても、常に、自分の納得できる彫刻の完成を目指しました。人にほめられるものでなく、自分の満足できる作品をしあげたい。自分自身に誠実でありたい、「うそをつきたくない」、自分の理想をいつまでも追い求めたい、という決意—この詩を、みなさんの新しい季節への一歩のために贈ります。（『日本語を味わう名詩入門8 高村光太郎』あすなろ出版より）

道程

僕の前に道はない

僕の後ろに道はできる

ああ、自然よ

父よ

僕を一人立ちさせた広大な父よ

僕から目を離さないで守る事をせよ

きはく

常に父の気魄を僕に充たせよ

この遠い道程のため

この遠い道程のため



赤土小学校との読書交流



学校図書館に続く廊下の両壁面の掲示や展示に気づきましたか？赤土小学校から届いた、1年生から6年生までの読書活動の作品が並んでいます。6年生が書いたお話も展示しています。また、2月3日

(月)には、6年生が九中図書館を見学を訪れました。

「小学校にはない本がたくさんあって楽しい！」「中学校の図書館はすごい！」といった声もあがり、閲覧時間にはみんな熱心に本を読んでいた。



これからの学校図書館スケジュール



学校図書館は3月5日(水)が今年度最後の貸出日となります。最終返却日は3月10日(月)です。

(3/5に借りた人も3/10には返却します。通常の貸出期間と異なりますので注意してください。)



📖 今月の BIP (Book Is Power)

* なにがあっても歩き続ける *

☆ 『道』 ルイス・サッカー 幸田敦子 訳

☆ 『サリーのえらぶ道』

エリザベス・オハラ モリうちすみこ 訳

☆ 『おれたちの故郷』 佐川光晴

☆ 『みち』 三浦太郎



🍱 給食×本

* 「鬼」ってなにもの？ *

落語絵本『おにのめん』 川端誠作

女の子が主人公と言う、めずらしい上方落語。旧暦では、立春の頃が新年のはじまり・元旦で節分はいまの「おおみそか」にあたります。

『鬼談百景』 小野不由美 作

小野不由美が初めて手がけた百物語。読むほどに不穏な闇は深まり、恐怖がいや増す一。文庫解説を担当した稲川淳二氏は、「怪談とはどういうことか知りたければ、この本を読んでおけば分かります」と絶賛しています。百物語怪談文芸の最高傑作、ここに誕生！

